

くすのき

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

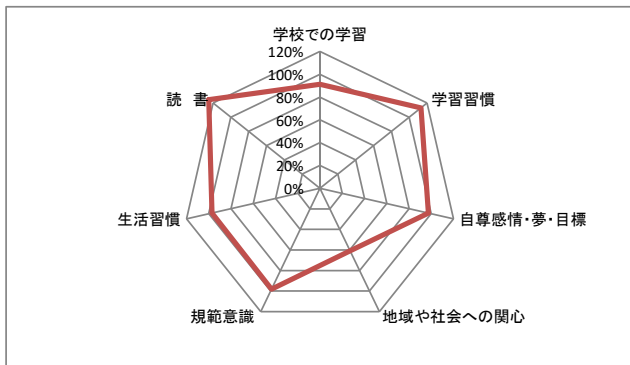
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	<ul style="list-style-type: none"> 全体的には全国平均正答率を下回っていた。 話す・聞く力を問う問題に課題があり、筋道を立てた話し合いや聞く態度などを習慣化する必要がある。 	下回っている
算数	<ul style="list-style-type: none"> 全体的には全国平均正答率と同程度であった。 数量や図形についての知識・理解に関する問題に課題がある。 	同程度である

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> 読書が好きな児童の割合は全国平均を上回った。 家で、自分で計画を立てて勉強をしている児童の割合は全国平均を上回った。 友達との話し合い活動で自分の考えを伝えたり、資料や表現を工夫して発表したり、課題解決のために進んで行動することなどについて肯定的な回答をした児童の割合は全国平均よりも低かった。授業で自分の考えをもって、しっかりと伝えられるように指導する必要がある。 将来の夢や目標をもっている児童の割合は全国平均より低かった。日頃から夢を抱くために、具体的な目標をもたせる機会を設定する必要がある。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- 国語については、MIMやコグトレを行うことで、書く力や認知力を高める学習に取り組んでいる。
- 算数については、朝自習や昼の補充学習で、基礎的・基本的な内容の定着を図るためのプリントをしている。
- 感染症対策を講じながら1時間の学習の中で、学び合いを行い、伝え合う力を高めている。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 各学年の実態に応じて、宿題に自主学習を取り入れている。中学年以上は自主学習ノートを用意し、継続的に自主学習を行い、家庭学習の充実を進めている。
- また、「家庭学習チャレンジハンドブック」を活用し、自主学習の仕方を示す。今後、自主学習コンテストを行い、全校で取組の参考となる自主学習ノートを紹介していく予定である。